番組審議会議事録（第94回、令和8年9月開催）

１．開催年月日　令和8年9月2日

２．開催場所　　ゆめタウン廿日市内FMはつかいちにて

３．委員回答
委員総数・・・7名
回答委員数・・・7名
●回答委員　小松隆文・舩附洋子・柴久美子・三浦実一・植村明美・銭谷綾介・堀川かなみ
●未回答委員
●放送事業者側　香川典加

４．議 題
これからの番組審議会のあり方、日頃お聞きになっている放送のこと、局全体のことなど何でもご意見をお願いします。

５．議事の概要と審議内容ほか

■番組：はつかいち 来て 観て 食べて もう一度！(提供：はつかいち観光協会)
毎月第2・4火曜日18：30～19：00
パーソナリティ：第17代はつかいち観光親善大使　松冨里咲・森脇夢彩・上野美桜

【番組主旨】
第17代はつかいち観光親善大使に就任した松冨里咲・森脇夢彩・上野美桜が、廿日市市内で開催される季節のイベントや、お祭り、見どころなどを発信。
実際に大使として活動する3人が、自分たちの目で見て感じた廿日市の魅力を、等身大のみずみずしいトークで伝える30分番組。

5月12日放送
・フラワーフェスティバルについて
・廿日市のおすすめスポットについて

【番組について】
・女の子3人の喋りで仲が良いのかな？と不安になりながら聴いていた。きちんとしたパーソナリティが居るのは大事だなと思った。子持ち観音の話は、今はホテルの建設で移設したけど、すごくローカルな話で、そうなのだと知ったことがいっぱいあった。

・始まりを聴いた時に「え？学生さん？」と、聴いていると心配になるところもあったが、3人での雑談は自然で良かった。原稿読みに入るとすごく上手な人も居たが、棒読みの人も居たので、読みの練習をするようにアドバイスしてあげた方が良い。内容的には廿日市のお知らせなど、道の駅とか色々お知らせするのに良いから、他でもお知らせが出来ると良い。掛け曲も若々しくて、若い層にもコンタクトしていくのには良いと思った。

・中心になるパーソナリティが番組を進行しないと不安になる。ピクミンの紹介の分はアクセス方法を言っていたが、他の場所のはアクセス方法の案内がなかった。聞き手が何を知りたいかを考えながら喋る必要がある。大野自然観察の森は今は実際にどれくらいの利用者が居る？昔は池の傍まで車で行けたが、今は駐車場の方から移動するのにクマが出ないかと心配になる。べにまんさくの方の散歩道にはマムシが多い。

・放送上では言葉足らずで、場所が良く分からない。３人のトークはとても和やかでとても良い。読みはぎこちない。パーソナリティが一人居てトークを引っ張っていくと良い。

・きゃぴきゃぴしていて楽しそうな雰囲気は感じたが、紹介の時にいきなり棒読みになって気になった。お出かけは好きなので、今は暑いけど、週末は季節が良くなったら人が多くなるだろうなと思いながら聴いた。スポットなども自分が色々と行ったところもあったが、リニューアルしたならまた行きたいなと思った。子持ち観音の話題に一番飛びついた。どこにあるのだろう？と。今はそこにはないというのが今日話の中で発覚した。イベント情報もたくさんあり、子育て世代にはとても楽しい番組と思う。

・子どもが居るので、遊びに行ける場所等が聞けるので、ラジオでもそういう情報が聞けてすごく良かった。学生さんたちの喋りで頑張れと思いながら、応援の気持ちで聴いていた。オープニングトークから曲に入るまでが早く、違和感があった。

・ローカルな話が出ても面白かった。誰か引っ張ってくれる人が居たら良いと思う。出演者が原稿を自分たちで書いているのは良い。自分で書いたものは頭に入っているので棒読みになりにくい。最近の若いアナウンサーを含め、不自然な言葉遣いが増えている。FM はつかいちが廿日市エリア専門の番組として観光親善大使を継続的に起用している番組があるのは良いと思う。